

## 高齢者住宅支援



むとう 葉子 議員

**Q** 高齢者、特に低所得者に対する住宅支援を

**A** 現在行っている支援で十分

**議員** 高齢者、特に低所得者に対し、見守りを含めた住宅支援を。  
**都市整備部長** 住宅に困窮している方へ、市営住宅を供給している。  
**福祉部長** 経済的な支援として「住宅家賃差額助成事業」や保証会社に支払う債務保証料の補助がある。見守り支援は、民生委員や老人クラブの見守りや安否確認を行う「食事サービス」、「緊急通報システム」などがある。

### 心身障害者福祉センターの利活用を

**議員** 子どもの学習場所が少ないとの声がある。3階のフリースペースにテーブルやカウンター、椅子を増やし、学習や読書もできる場所にしてはどうか。  
**福祉部長** 主な利用者である障害のある方のご意見、車いすの動線に配慮した上で、利用しやすい環境づくりに努める。

◀心身障害者福祉センターのフリースペース



## 子ども健康支援



てつか しずか 議員

**Q** ロタウイルス予防接種費用の一部助成は

**A** 慎重な判断をしていく

**議員** 乳幼児の感染症にロタウイルス、おたふくかぜ、インフルエンザがある。これらの感染症の予防と合併症を防ぐためには、ワクチンによる予防接種が有効である。しかし、「任意の予防接種」であるため、接種費用は全額自己負担であり、費用も高額で、子育て世代の経済的な負担となっている。感染症から子どもの健康を守るためにも、経済的な負担軽減の支援が必要である。そこで、「任意予防接種費用の助成について伺う。①ロタウイルス予防接種費用の一部助成は②おたふくかぜ予防接種費用の一部助成は③インフルエンザ予防接種の一部助成はどうか。また、中高生の受験生対象だけでもできないか。

予防接種「化への継続審議中であり、助成については慎重な判断をしていく③予防接種費用の助成は困難である。また、受験生対象も財政的負担に課題がある。

### 児童生徒の学力向上策は

**議員** 平成30年度「全国学力・学習状況調査」埼玉県学力・学習状況調査の結果と分析、課題は。  
**教育部長** 調査の目的は、授業改善のためである。今後も調査を活用した授業改善を進め、児童生徒への細やかな指導につなげていく。



福祉部長 ①②国において「定期

平成31年度全国学力・学習状況調査の様子

## 安全運転対策

いしかわ きよあき 議員

**Q** 急発進防止装置等の購入支援を

**A** 機会を捉え、国や県に働き掛ける

**議員** 運転免許証自主返納促進事業の進捗状況は。  
**市民生活部長** 制度開始から令和元年5月まで470人の方に利用され、そのうちの96・4%の方が高齢者となっている。平成30年の戸田市の免許返納件数に対する本事業の利用割合は86・3%で、多くの方に制度を利用いただいていると認識している。  
**議員** 受付期間終了後の対応は。  
**市民生活部長** 毎月30人の方が制度を利用している現状等を踏まえ、どのような対応が可能か検討する。

### 「ふれあい収集」の実施を

**議員** 安否確認を兼ねた、ごみ出し支援事業「ふれあい収集」を実施してはどうか。  
**福祉部長** 今後さらに高齢者世帯等は増加していくことを考えると、ごみ出し支援サービスへのニーズは、さらに高まると認識している。環境省が行う、ごみ出し支援のモデル事業を注視しながら、関係部局と連携し研究する。

## 引きこもり支援

みづら よしかず 議員

**Q** 相談者の対応には継続的に支援を求める

**A** 関連機関が相互に連携・フォロー

**議員** 本市の40歳から64歳までの中高年の引きこもり推計値は。  
**福祉部長** 700人余りである。  
**議員** 相談者への対応には、しっかりと継続的に支援を求める。  
**福祉部長** 生活課題の解決が見通せるまで、関連機関が相互に連携しながらフォローしている。

### 競艇配分金の使途を明確に

**議員** 平成30年度の配分金は5億円。市民にはその使途があまり知られていないのが現状。何に使われているのか、視覚的にも認知してもらえぬ努力をすべき。  
**財務部長** 「戸田駅前公衆トイレ改修」「歩行者自転車道路整備」「消防車両整備」「小学校屋内運動場非常用発電機設置」「国民健康保険」「市民医療センター」等の経費などに活用。貴重な財源であり、広く周知に努める。

## 消費税引き上げに伴う対応を

**議員** さまざまな緩和策が予定されている。経済の停滞や混乱を防ぐため、軽減税率の導入、プレミアム商品券の円滑な導入、キャッシュレス・還元事業制度や住宅取得支援策等、市民に周知徹底を。  
**環境経済部長** 商工会と連携しながら市のホームページ、メルマガ、国のチラシ、専用のコールセンターを情報提供して周知を図る。



▲改修が予定されている戸田駅前公衆トイレ

運転に自信がなくなったら…運転免許証の自主返納を促してみませんか

### 戸田市運転免許証自主返納促進事業

市では、身体機能や認知機能の低下などの理由により運転に自信がなくなった方などが自主的に免許証を返納することができるとして、運転免許証の自主返納制度を促進するため、自主返納した市民の方に対し、公共バスの回数券を交付します。

**公共バスの回数券 5,000円分を交付します。** (1回限り)

国際興業バス3,000円分  
戸田市コミュニティバス2,000円分

早稲30年1月4日から平成32年12月28日まで0歳に運転免許証を自主返納し、自主返納した日より申請日のいずれにも戸田市に住所がある方

申請期間：平成30年10月1日～平成30年11月30日 (祝日、年末年始を除く)  
平成31年02月01日～平成31年02月28日 (祝日、年末年始を除く)

申請から回数券交付までの流れ

1 運転免許証を自主返納する

◆申請期間にて返納受付  
※市の警察署や運転免許センターでも返納できますが、市役所から一回だけ申請期間で返納すると、その後の申請期間で返納する場合は申請期間外となります。

※申請期間：平成30年10月1日～平成30年11月30日 (祝日、年末年始を除く)  
平成31年02月01日～平成31年02月28日 (祝日、年末年始を除く)

※返納に関する詳細は、警察署またはお問合せください。 電話番号 048-644-0110

◀戸田市運転免許証自主返納促進事業のチラシ